

安中市 議会だより



◆発行日 令和4年10月28日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 上武印刷株式会社



4年ぶりに にぎわう 「あんなか祭り」

令和4年安中市議会第3回定例会は、9月2日から9月26日までの25日間の会期で開催されました。この定例会に市長から提出された議案は、条例の一部改正などが18件、令和3年度決算関係が8件、合わせて26件でした。

また、議員提出議案として意見書案と決議案がそれぞれ1件提出されました。

定例会のあらまし

◇2日＝本会議 会期の決定、議案24件を上程。決算審査特別委員会を設置し、議案を各委員会に付託。

◇7・8・9日

＝決算審査特別委員会

◇13日＝総務文教常任委員会

◇14日＝福祉民生常任委員会

◇15日＝経済建設常任委員会

◇20・21日＝本会議 一般質問

◇26日＝本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。議案2件を追加上程。市長提出議案26件を可決。議員提出議案2件を可決。請願・陳情審査報告、質疑、討論、採決。閉会。



今定例会における一般質問は、9月20日と21日に行われ、11名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

PCやスマホでも

議会をご覧ください！

次の定例会市議会は、11月30日～12月14日までの予定です。



お 雄 貴 藤 佐 (民声クラブ)

高齢者施策・市民の表彰について

高齢者が安心して暮らせる取り組みについて

問 高齢者の居場所づくりは。

答 仲間作りや孤独感・不安感の解消、介護予防を目的にふれあい・いきいきサロンがあります。

問 公共施設の優先駐車場の標示は車椅子マークだけの場合が多く、高齢者や妊婦、けが人等が使いづらい。対象者が使いやすいマークに変更すべきでは。

答 今後は優先駐車マークの標示にしていけます。

問 避難所のトイレ等は洋式化し、バリアフリー化すべきでは。

答 対応を進めるよう検討します。

問 防災行政無線はスピーカーの音が聞き取りにくい。メール配信サービスのさらなる利活用は。

答 市独自の高齢者緊急情報伝達サービスもあり、メール配信の利用者増加を図ります。

問 高齢者のスマホ等の利活用は。

答 本年度も講座を開催し、デジ

タル機器を学ぶ機会を作ります。市民の表彰について

問 一般市民対象の表彰制度は。

答 功労者表彰と善行表彰があり、善行表彰の内、特に市民の模範となるような善行をした者の表彰は合併以来一度もありません。

問 コロナ禍で役割を担ったエッセンシャルワーカーや大変な思いをした市民を表彰し、市長が労をねぎらうことはどうか。

答 全市民に感謝の意を示し、メッセージを発信します。



公共施設の優先駐車場

優先駐車マーク…車椅子マークではなく、バリアフリー新法対象の障害者・高齢者・妊産婦・けが人等が利用しやすいよう、対象の方のマーク、文字情報を路面標示したものの。



こよ 陽 嶋 なが 長 (公明党)

子育て支援・学校教育現場の取り組み・障害者支援について

産前産後の支援拡充について

問 市内に出産対応の産婦人科がないため、市外の産婦人科を受診する妊産婦さんの経済的、精神的な負担を軽減できるよう、通院や出産にかかる交通費を補助する考えは。

答 子育て世帯等を応援する有効な手段の一つですので、先進事例を参考に検討します。

一時預かり事業について

問 新型コロナ感染拡大時に、臨時休園となった場合に備えて、代替え施設が必要と思うが。

答 基本的な感染対策を行いながら原則開所し、陽性者が確認されるなど感染拡大の恐れがある場合には、状況に応じて登園自粛を行うなど、なるべく休園とならないような対応を今後も継続していきます。

小中学校での長引くコロナ対応について

問 不安やストレスを抱えている

児童生徒への心のケアは。

答 担当や養護教諭等による気付きや声かけ、スクールカウンセラーによる面談等、一人一人の心情に寄り添ったきめ細かな対応に努めます。

障害者手帳の電子化について

問 スマートフォン向け障害者手帳アプリ導入の考えは。

答 障害者の暮らしにおける便利なツールになると認識しています。障害者がどれくらい使用するかなど、参考に検討します。



障害者手帳をスマートフォンに（イメージ）



ゆき 浩 之 柳 やなぎ さわ (清風クラブ)

行政のデジタル化・道の駅・スポーツ環境整備・墓苑建設について

マイナンバーカードについて

問 本市の交付率は。

答 8月末時点の交付率は35.9%、申請率は43.9%です。

問 普及が進まない要因は。

答 要因としては、取得する必要を感じない・個人情報漏えいへの心配などが考えられます。

問 健康保険証として利用できる医療機関と整備状況は。

答 公立碓氷病院を含め11件、薬局は7件です。医療機関のシステム整備を行う必要があります。

国は、システム整備の補助制度を設け普及に努めています。

問 コンビニで住民票などの各証明書が取得できる環境整備は。

答 12月1日からコンビニ交付サービスを開始できるよう準備を進めています。開始に際しては、広報紙やホームページにコンビニで証明書を取得する方法の解説を載せるなど、情報発信にも努めます。

マイナンバーカードの活用拡大のためにオンライン市役所サービスや市民カード化などの活用策は。

答 公共交通との連携や図書カードとしての利用なども含め、誰もがより使いやすいデジタル事業を積極的に進めます。

その他、デジタル田園都市国家構想、道の駅の整備、西毛運動公園スポーツ施設の充実、2029年（令和11年）ぐんま国体、市営墓苑整備について質問しました。



交付されるマイナンバーカード（内閣府・総務省資料抜粋）



小林 幸子 (民声クラブ)

安全、安心なまちづくり・安中市の公共の福祉・観光振興について

防災対策について

問 AEDの配置マップを作り市民へ周知すべきでは。

答 本市ホームページに日本救急医療財団全国AEDマップをリンクしています。今後、市民便利帳などに掲載を検討します。

問 危機管理課に女性職員を配置すべきでは。

答 男女共同参画を推進します。要配慮者の個別避難計画の作成状況は。

問 現在準備を進めています。

問 防犯灯と同様に防犯カメラについても、設置は地区で行い、電気料を市が負担する施策を講じてはどうか。

答 カメラの設置前後で犯罪率に差が出ることは分かっており、補助制度等を検討します。

問 一般廃棄物処理について

問 運搬業の新規業者を受け付けていない理由・根拠は。

答 廃棄物処理法に、「収集又は運搬が困難であること」が許可の条件となっており、本市におけるごみ処理量は年々減少しているため、業者数は充足していると判断しています。

問 道の駅について

答 整備費用の他市の事例は。「小栗の里」は、総額6億2千万円です。「道の駅しもにた」は、総額約8億円で、県が約5億4千万円を、町が約2億6千万円を負担しています。



平成15年から開業している「道の駅しもにた」



小林 新也 (新政会)

農地・市営住宅について

農地について

問 耕作放棄地の現状は。

答 過去5年間で、平均で540㌫です。太陽光発電施設を目的とした農地転用許可件数は過去5年間で、681件です。

問 耕作放棄地増加の問題点は。

答 高齢化による耕作面積の減少、後継者不足、未相続による管理者不在、有害鳥獣の住処等です。

問 有害鳥獣対策は。

答 過去5年間のイノシシ駆除件数は2684頭で、予算は年間平均で約2千800万円です。

問 耕作放棄地対策は。

答 原則3年以上耕作されていない市内10アール以上の畑に対して伐根整地等を行った場合、10アールあたり1万円の補助金を5万円を上限に交付しています。

問 農業振興地域の除外件数は。

答 過去5年間で469件、約43万平方メートルです。申請及び許可の内容ですが、近年は太陽光発

電施設が大半を占めています。

問 耕作放棄地削減目標と実績は。

答 令和3年度は、遊休農地面積24㌫に対して解消目標は10㌫、解消実績は、約4・5㌫でした。令和4年度は遊休農地22㌫に対して解消目標は6㌫です。



市内の耕作放棄地

問 今後の耕作放棄地対策は。

答 耕作放棄地解消対策事業を継続しながら補助金額や交付条件等、事業の見直しを検討します。

その他、1項目を質問しました。



よこ 子
しづ 者
む 武 (公明党)

市民サービス向上・農業振興・ト イレの環境整備について

よりそいコーナーについて

問 1つの窓口で様々な手続きが
でき、市民の負担軽減となり喜
ばれていると思うが、改善点は。
答 職員間の連携を密にし、ご遺
族に寄り添った対応を続けます。

市営住宅について

問 保証人を確保できないために
入居できない事態が生じないよ
うに総務省勧告が出て、条例改
正した自治体もあるが、連帯保
証人を規定から外す考えは。
答 現状としては、必要と考えて
いますが、今後検討します。

問 共益費の徴収を、市民の負担 軽減のため、行政が行う市があ るが、見直しの考えは。

答 社会情勢等を勘案し研究しま
す。

農福連携について

問 農業の担い手づくりや障がい
者の雇用対策となる、農業と福
祉事業とが連携する農福連携の
推進については。

答 異業種の参入により農地利用 が進むことは好ましいことで、 障がい者の働く場所や所得向上 として農業参入は適しています。 取り組みやすい補助事業など検 討を進めます。

問 サニタリーボックス配備について

答 公共トイレへの男性用サニタ
リーボックスの配備状況は。
問 本庁舎、松井田庁舎、スマイ
ルパーク、安中駅前広場公衆ト
イレの4施設で、22個配備して
います。



市役所1階よりそいコーナー



え 江
ひろ 井
さくら い 櫻 (日本共産党安中市議団)

新型コロナウイルス感染症対策・ 物価高騰対策について

コロナウイルス感染症の感染拡大 の状況について

問 政府は、今年6月から、入国
制限と空港検疫を大幅に緩和。
一方で「第7波」に備えた医療
等の体制強化もなく、医療のひ
っ迫、発熱外来も厳しい状況
で、7月に爆発的な感染が広が
り、当市でも1日2桁台が続い
た。当市の高齢者施設や保育所、
学校などでの状況は。
答 感染拡大は、8月1日に83人
でピークとなり、高止まりが続
きました。クラスターも複数発
生しました。

問 高齢者施設では日頃から外部 との接触の制限など、厳しい感 染予防対策を行っている。感染 拡大で、他自治体の施設で1週 間家に帰れなかつた職員もいた というが、当市内ではどうか。

答 陽性者が発生した場合に介護
サービスの休止等の連絡はあり
ますが、職員の勤務体制につい

問 介護や保育など人と密に接す る職場では、感染予防は大きな 課題であり早期発見が重要。即 時対応できる検査キットの配布 や助成についての考えは。

答 保育職場では、新型コロナウイルス
策物品として補助対象となつて
います。配布、助成等は今後の
状況等から検討します。

**その他、コロナ禍における物価
高騰対策等を質問しました。**



7月1日時点での住民登録市民に配られる
こうめちゃんショッピングチケット

サニタリーボックス…使用済みの男性用尿漏れパッドなど廃棄する、トイレ用のゴミ箱。



小川 剛 (清風クラブ)

雇用、労働・脱炭素社会に向けた 取り組みについて

労働局との雇用対策協定について

問 人口減少が進む本市は、安定した雇用創出に最優先で取り組みをすべきである。労働局と協定を結び地域の人材確保や就職支援に取り組む事も必要だがどうか。

答 ハローワーク安中が事務局の、雇用対策推進協議会に本市も参加し、実務的な意見交換や情報交換をしています。若者や女性の就職支援、障がい者の就労支援、障がい者雇用率の底上げ等、雇用・労働の各種取り組みの推進が図れるよう今後も進めます。
トップセールスについて

問 市長を中心とした企業訪問等の実施状況はどうか。また、本市は低い災害リスクがアピールポイントだがどうか。

答 訪問で市内外企業の事業拡張予定や企業の業況の確認、事業展開の方向性を的確に捉える事を進めています。災害の少なさに着目し進出した企業もあるの

で、アピールポイントとします。

脱炭素社会への取り組みについて

問 秋間観梅公園に植樹した早生桐は、5年で成木になる。今後の用途や耕作放棄地対策としての農地再生等はどうか。

答 木材チップを使用したバイオマス発電や家具等の木材資源で活用が可能となります。将来的には、水素発電の原料として活用できるよう研究・検討します。耕作放棄地への植樹は、有効な取り組みと考えます。



本年6月に市内耕作放棄地に植樹した3mになる早生桐

松井田庁舎について

問 活用の考え方は。

答 今後も支所機能を維持し地域にあつた部署配置を検討します。

問 地域性にあつた部署とは。また現在配置されている部署は。

答 森林や鳥獣対策を取り扱う部署などです。配置されている部署は、総務管理課、住民福祉課、農林課、観光経済課及び教育委員会等の3課です。

問 空きスペースができた場合の活用方法は。

答 子育て支援、市民活動、テレワーク、サテライトオフィス等の誘致を検討し、新庁舎建設事業と並行して実施します。

農道を含む生活道路について

問 道路維持管理の現状は。

答 市が管理する道路は1628キロで年々対応箇所が増加し、現在は、幹線道路、通学路を優先し農道や生活道路は通行に危険がないものを除き、土地所有



井上 美実 (新公会)

松井田庁舎・農道を含む生活道路・ 獣害について

者や耕作者の方に適切な管理をお願いしています。

問 住民の道路清掃活動は。

答 今後は高齢化や世帯減少が見込まれ、地域の実情を踏まえた市道管理の在り方を検討し対応します。

猿害について

問 今後の対策については。

答 猿の被害防止のため、今年度変更した安中市鳥獣被害防止計画に基づき、防除、捕獲の両面で対策を推進します。



通り抜けできなくなった農道

早生桐…5年で15mの成木となり、一般的な桐の約10倍の二酸化炭素の吸収量がある品種で地球温暖化対策に寄与すると言われている。



太陽光発電・地域づくりについて

太陽光発電設備の現状について

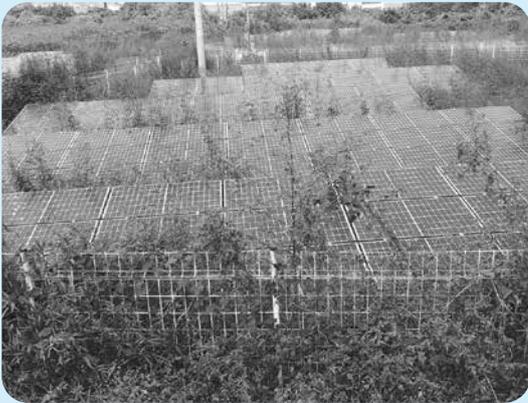
問 設置された設備に対する苦情等の内容と市の対応は。

答 設置区域内からの雑草の繁茂、土砂等の流出が主なものです。

市の対応として、太陽光条例により同意した箇所については都市整備課から、条例非該当の箇所については環境政策課から保守管理者に連絡し、指導等を行っています。

問 設備の耐用年数と耐用年数が過ぎた際の設備撤去の対応は。

答 国の「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」では、耐用年数を17年と定めています。なお、発電事業終了後の除却費用については「改正再エネ特措法施行規則」により、令和4年7月から10キロワット以上の太陽光発電事業の認定事業者は、発電設備の解体・撤去及び処理に要する費用に充てるための金銭である「解体等積立金」を、国



雑草に覆われた太陽光発電パネル

が指定する外部機関である「電力広域的運営推進機関」に積み立てることが義務付けられています。

条例の見直しについて

問 新たに景観計画が策定された今、より住民目線に立った太陽光条例見直しの考えは。

答 太陽光条例については、今後も検討を継続しながら、必要に応じて随時見直し等を行っていきたく考えています。
その他、1項目を質問しました。

観光振興について

問 「国指定史跡」を目指して、松井田城址保存会が8月に市の指定を申請している。県、国への働きかけを強化し動きを始めたいが。

答 本丸・二の丸・馬出などの遺構を指定できるように、早期に検討を進めたいです。

市民幸福度の向上について

問 公共交通整備が幸福度の最低限の要素だ。「他人に気兼ねなく安価に外出ができる幸せ」を早く実現すべきだが。

答 他市の事例等も調査、研究し導入の可能性を検討します。

新庁舎建設問題の精査について

問 現庁舎敷地は、市民の財産で、価値ある土地だ、簡単に売却など無責任という声があるが。

答 敷地は、西毛広幹道に接しているため、賑わいを創出できる施設に適していると思われるが、あくまでも財政負担の軽減



市長の所信表明・処遇改善手当・農業振興対策について

策の1つの案です。

処遇改善手当について

問 賃金水準が極めて低い福祉関係労働者の処遇の改善政策が実施されたが、施設によって大きな開きがある。保育園や学童クラブで実際の賃金改善は図られたのか。

答 保育園等はすべての保育施設で実施しています。学童クラブでも3クラブを除いて実施しています。

その他、1項目を質問しました。



松井田城本丸跡での間伐作業

一般会計・3つの特別会計及び4つの事業会計決算を認定 令和3年度 一般会計決算

歳入総額 277億6,398万6,883円
歳出総額 262億3,685万6,246円

令和3年度 特別会計及び事業会計決算

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額
安中市国民健康保険特別会計		63億6,124万2,697円	63億3,984万4,348円
安中市後期高齢者医療特別会計		8億3,169万9,893円	8億2,871万8,483円
安中市介護保険特別会計		68億9,371万7,013円	66億8,797万1,212円
安中市水道事業会計	収益的	13億3,090万4,491円	11億6,628万7,002円
	資本的	2億7,821万5,978円	9億4,221万8,032円
安中市下水道事業会計	収益的	8億3,520万6,197円	6億4,377万5,803円
	資本的	1億6,797万707円	4億9,346万1,786円
安中市病院事業会計	収益的	27億8,091万5,826円	26億3,989万7,421円
	資本的	3億8,162万2,613円	4億6,102万5,528円
安中市介護サービス事業会計	収益的	4,081万3,428円	3,916万6,799円
	資本的	0円	0円

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、市の予算が目的どおり正しく執行され、十分な成果をあげているかなどを詳細に審査するために、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員を選任して設置された委員会です。

一般会計と3つの特別会計及び4つの事業会計の決算内容について集中的に審査を行いました。

審査の中で行われた一般会計の決算に対する主な質疑は次のとおりであり、それぞれ執行部から回答がありました。

なお、答弁の内容については、紙面の都合により省略させていただきます。

一般会計歳出

【総務費】

- 退職者数と定年延長について
- SNS利用と有料サービスの導入について
- 旧秋間みのりが丘コミュニティプラザ改修工事の概要と今後の

利用について

- 地域づくり講演会の概要とオンライン配信について

- 地域力創造アドバイザー活用事業の総括と今後の活用について
- あんなか住まいりー奨励金における、市外からの移住定住の詳細と事業を充実させる考えについて

- 移住支援金事業補助金における移住に向けた取り組みについて
- マイナンバーカードの普及状況と利用状況について

- 地域おこし協力隊の活動成果や総括の周知について
- 空家対策推進事業の現状と助成内容の見直しについて

- あんなか日和(空家バンク)における成約件数とその分析について
- 空家除去費補助金の推移と見直しについて

- 細野地区新たな移動手段導入事業の経緯や地域の声、今後の実用化について
- ふるさと納税における安中市民の市外への寄付状況について

- 無料法律相談の件数の推移と内

容、相談体制の充実化について
 ●詐欺電話防止装置貸出し事業の実績と今後について

●街路灯管理事業の新規設置件数とLED交換に向けた各地域の積み立て状況について

●結婚支援事業の成果とコロナ禍の影響について

【民生費】

●ふれあい・いきいきサロン事業の実施状況と成果、課題について

●タクシー料金補助金の予算額と比べ決算額が減額となっている要因と制度統一に向けた考えについて

●成年後見制度利用促進事業の事業概要と課題、本市における必要性について

●健康増進施設めぐみの湯運営事業の燃料代、コロナ禍の影響、市の支援について

●健康増進施設めぐみの湯運営事業の不用額の詳細と市民を巻き込んだ取り組みについて

●あんなかスマイルパーク管理運営事業の工事請負費、備品購入費の内訳と今後の予定について

●あんなかスマイルパーク管理運営事業の工事の遅れとその影響、事業の検証について

●低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業の申請型対象者への周知方法とマイナンバーカードを利用した支給への考えについて

●病児保育事業負担金、病児保育事業補助金の内容と安中市内での事業実施について

●民間保育所費にかかわる定員割れの民間保育所とその補助について

●公営となった九十九学童保育所職員の継続雇用について

●生活保護世帯の推移について

【衛生費】

●中学3年生・高校3年生相当へのインフルエンザ予防接種の恒常的な事業化への考えについて

●新型コロナウイルスワクチン接種事業の不用額の要因とワクチン未接種者の人数について

●テイクアウト容器購入支援補助金の詳細と参加事業者、今後の計画について

●住宅用スマートエネルギーシステム設置補助金にかかわる蓄電池補助の概要と財源、課題について

●有害鳥獣対策事業にかかわる捕獲隊活動の詳細と課題、協議会活動について

●公害防除特別土地改良事業の進捗状況について

●ペットボトル等回収事業委託の詳細と行政回収への動きについて

●合併浄化槽設置整備補助金の内訳と人槽の基準、変更について

【農林水産業費】

●農業祭が中止になったことによる影響と今後の見通しについて

●碓氷製系経営基盤強化事業補助金にかかわる碓氷製系の事業内容、事業計画について

●農業次世代人材投資資金にかかわる新規就農者への指導体制の実態と強化について

●養蚕農家戸数と地域とのかわりについて

●畜産クラスター事業の効果と市内参加畜産業者数について

●多面的機能支払事業の現状と課題、制度の見直しについて

●安中榛名駅北側の昆虫飼育施設の現状とこれまでの経費、事業検証と再実施の検討について

●消費生活センターのコロナ禍における相談件数の推移と内容の変化について

●商店街無料駐車場の利用状況と用地買取の考えについて

●新型コロナウイルス対策の事業者向け各事業の効果とコロナ禍での廃業や休業の状況について

●観光客消費拡大補助金・地域限定クーポン券補助金・おもてなしキャンペーン宿泊補助金の各内容、期間が分かれた理由について

●全国梅生産者女性サミット開催地補助金の概要と実績について

●安中市観光機構の現状と市民を巻き込んだ取り組みについて

●国民宿舎整理事業の期間と今後の利用へ向けた検討について

●碓氷峠の森公園事業工事請負費の詳細と資材高騰の影響について

●めがね橋駐車場、トイレの経費と収益事業の検討について

●めがね橋駐車場、トイレの経費と収益事業の検討について

【土木費】

- 通学路整備事業の詳細と通学路安全点検での指摘箇所について
- 道路新設改良事業の内訳と増額理由について
- 道路新設改良事業の実施箇所数と要望箇所数、財政措置について
- 景觀計画策定事業の概要と都市計画マスタープランとの関係について
- 市営住宅除却の概要と跡地利用について
- 危険ブロック塀等撤去補助金の実績と撤去に向けた市の対応について
- 住宅リフォーム事業費補助金の申請内容の特徴と今後について
- 【消防費】
緊急情報配信サービスの詳細と申込件数、周知について
- 【教育費】
GIGAスクール事業におけるスクールサポーターの現状と今後について
- 小中学校トイレ洋式化の要望と計画について
- 要保護及び準要保護児童就学支援

【令和3年度決算 一般会計歳出の内訳】

※1万円未満切り捨て

1 款 議会費	2億1,418万円	7 款 商工費	5億2,093万円
2 款 総務費	30億6,904万円	8 款 土木費	24億9,883万円
3 款 民生費	104億6,524万円	9 款 消防費	9億1,778万円
4 款 衛生費	26億4,320万円	10 款 教育費	23億1,557万円
5 款 労働費	2,552万円	11 款 災害復旧費	0円
6 款 農林水産業費	6億7,191万円	12 款 公債費	28億6,079万円

【公債費】

- 公債費比率について
- 原市小学校給食施設整備事業の概要と他校の計画について
- 給食調理員の正職員採用について
- 給食費無償化の拡充への考えについて
- 「日本マラソン発祥の地」看板設置工事の概要と維持管理、事業効果について
- 社会教育における市民活動への「コロナ禍の影響について
- 助事業の人数増加要因について

一般会計歳入

- 個人、法人市民税の減額要因について
- 固定資産税収入未済額の要因について
- 軽自動車税収入済額の増額要因について
- 配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金の増額要因について
- 地方消費税交付金の増額要因について
- 「コロナ禍前後の教育使用料決算額の比較について
- 新型「コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を用いた市民への給付額について
- 新型「コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業への充分の基準と充当事業への監査について
- 財政調整基金の運用状況について

一般会計反対討論

新庁舎建設基本構想でアンケート1位に現れた「現庁舎敷地で既存施設を活用したものを」という回答が全く無視され「市役所移転の白紙撤回を求める請願書」も提出されるなど、市民の怒りが広まりました。

個人市民税は勤労者の所得が伸びず、市民の暮らしが厳しいことを物語っています。子育て世代の収入が減って就学援助児童生徒が増えています。法人市民税は、国による「税の偏在是正」という理由で、大きく減らされています。

配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金などが大きく伸びていて、「コロナ感染症で庶民が収入源に見舞われている時期に、不労所得を増やしている市民があるという貧困と格差が拡大していることを表しています。150年余り続いてきた臼井、九十九小学校、南中学校が廃校となりましたが、少子化対策を怠ってきた政治の責任は重いものがあると考えます。」



一般会計賛成討論

令和3年度の地方財政においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用した感染防止策や緊急経済対策が積極的に実施され効果を上げていると考えますが、見通しが不透明な状況でありました。令和3年度安中市一般会計予算ですが、実質収支額を14億1692万円余りとして決算を終える運びとなりました。歳入においては、市税や国庫支出金が前年度より減少しましたが、地方交付税や臨時財政対策債などが増加しています。歳出においては、民生費、衛生費、農林水産業費などは増加を続けていますが、前年度に新型コロナウイルス感染症対策などで増加した反動として、総務費、商工費、教育費などは前年よりも減少しています。今後、経常経費の増加が見込まれることから事務事業の見直しを行っていく事も必要です。これまでに以上に歳入の確保に努め、持続可能な財政運営を要望します。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。その他の議案は、全員賛成で可決されました。

令和4年第3回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議案名	議席番号	議員名																			結果	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		20
議案第89号 令和3年度安中市一般会計歳入歳出決算認定について		金井久男	櫻井ひろ江	松本次男	金井登美雄	長嶋陽子	武者葉子	小林克行	佐藤貴雄	小林訂史	遠間大和	豊次雄	巽久男	高橋由信	柳沢吉保	小川剛	柳沢浩之	今井敏博	吉岡完司	奥原賢一	田中伸一	認定
議案第90号 令和3年度安中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第92号 令和3年度安中市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

※議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】

第3回定例会 人事関係以外の議案

- 安中市職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市市税条例の一部を改正する条例について
- 安中市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市都市計画税条例の一部を改正する条例について
- 安中市手数料条例及び安中市印鑑条例の一部を改正する条例について
- 安中市ふるさと創生基金条例の一部を改正する条例について
- 安中市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市斎場条例の一部を改正する条例について
- 安中市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例

- の一部を改正する条例について
- 財産の取得について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 令和4年度安中市一般会計補正予算（第3号）
- 令和4年度安中市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和4年度安中市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 和解について
- 令和4年度安中市一般会計補正予算（第4号）

議員提出議案

- 今定例会に議員提出議案として意見書案と決議案が各1件提出され、全員の賛成で可決されました。
- 少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書（案）
- 公共事業等の市内業者への優先発注並びに地元産品の優先使用を求める決議（案）

請願・陳情

- 皆様から提出されました請願等の審査結果は、次のとおりです。
- 《採択となったもの》
- すみれヶ丘聖苑内墓地建設に伴う陳情

総務文教常任委員会

行政視察報告

7月5日から7日の日程で宮崎県日向市へ新庁舎建設について、熊本県荒尾市へは、市立図書館について視察を行いました。日向市は、本市と人口も同じくらいで庁舎も約50年以上経過していることも似ています。新庁舎整備事業ですが多くの市民が集う場ということで市民一人一人が、「わたしの市役所」と感じることもできる、市役所の実現を目指したということでした。工事期間中も市民に対して工事現場見学会の取り組みや、日向市役所建設応援団の活動があり市民参加型のイベントの企画、支援や建設後の庁舎の活用策の検討など市民と一体の建設でした。本市もこのように、市民と一体となり新庁舎整備事業を行うことが重要と感じました。

荒尾市は、最新の電子図書館というところで今年4月から紀伊国屋書店が指定管理者となり管理運営をしています。基本方針は、①学

びを「伝える」②交流活動と「つながる」③未来に「つづく」図書館です。サービスについては、書籍のセルフ貸出、無料WiFi、視聴覚機器の導入、タブレットの貸出、電子書籍の導入、スマートフォン等で約7千の電子書籍が利用可能、また飲食できるスペース、豊富な座席、開館時間の拡大でした。最近では本離れが進んでいると聞きますが、誰もが立ち寄りたくなる図書館の整備について、参考になる点が多かったです。



市立図書館について (荒尾市)

内容としては、約1000人にも及び保健委員体制、歩いた距離をバーチャルな徒歩の旅として記録する「日本全国バーチャルの旅」、運動や健診などの行動をポイントに変え、登録店舗で割引やサービスを受けられる「健康マイレージ」など、他にも多くの事業を行っています。また、保険者努力支援制度を活用し費用の軽減を図っています。今後の高齢者健康維持の取り組みを考える上で

福祉民生常任委員会は、令和4年7月13日から15日までの日程で、静岡県藤枝市「健康・予防 日本一、ふじえだプロジェクト」、京都府舞鶴市「乳幼児教育センター運営事業」の行政視察を行いました。

「ふじえだプロジェクト」は、厚生労働省のアワードで優良賞を受賞し、タイ王国からも視察団が訪れる、先進性と実績に優れた取り組みです。

福祉民生常任委員会

行政視察報告

も参考になりました。

舞鶴市では、0歳から15歳までの切れ目のない教育の充実を掲げており、乳幼児に対し、質の高い充実した教育を実施しています。

具体的には、「乳幼児教育センター」を中心に、相談員や「コーディネーター」による保幼小中の連携強化、各種合同研修会の開催など様々な事業を行っています。乳幼児教育の充実には、今後の安中市の子育て支援に欠かすことのできない重要な施策だと痛感しました。



乳幼児教育センター運営事業について (舞鶴市)

経済建設常任委員会

行政視察報告

7月11日から13日までの日程で、兵庫県西脇市の「企業立地支援とデータセンター誘致」について、山口県周南市の「道の駅ソレーネ周南の運営」について行政視察を行いました。

西脇市は、平野が少なく70%以上が山や農村地域が広がる町です。製品出荷額も近隣他市に比べ少なく企業誘致は喫緊の課題でした。

トップセールスに力を入れ市長が就任した平成25年以降、20社立地し新設が13社で雇用者数も287人と成果もあがっています。課題は、土地の確保であり、産業用地整備調査を実施し、企業要望に沿った用地確保に苦労しています。

また、経産省のデータセンター誘致も進め、南海トラフ地震に強い岩盤をアピールし積極的に誘致を進めています。

本市も災害リスクの少なさをPRしトップセールスで企業誘致を目指す点で参考になりました。

周南市道の駅ソレーネは、平成26年に防災機能も備えオープンし、国交省が6億円、市が13億円総事業費19億円で建設されました。

道の駅内には、高齢者等の相談窓口や地域住民への生活サポート体制の構築、宅配業者と連携し周南市全域の集荷支援、買い物弱者への移動販売で周南市全域による地産地消、高齢者の生活を支援しています。高速道路ICからも至近距離にあり本市の道の駅建設においても大変参考になりました。



道の駅ソレーネ周南の運営について
(周南市)

10月6日にオープンしたケルナー広場 (あんなかスマイルパーク)

あんなかスマイルパーク



